

ADAPT 取扱説明書


安全上のご注意


- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。


警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。


- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。


 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。


 分解してはいけないことを示す記号です。

 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。


 触れてはいけないことを示す記号です。


 水がかかるところで使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。


 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。


 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。


警告


 AC アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、AC アダプタを容易に引き抜くためです。


 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。


 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。


 船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない。火災の原因になります。


 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。


 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。


 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。


 タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。


 テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。


 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。


 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。


 煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。


 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。


 本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。


 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。


 分解や改造をしない。感電の原因になります。


 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。


 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。


 オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

注意


 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。


 長期間本機を使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。


 AC アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

 AC アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

 ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。

 移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

 薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される与干渉距離は約 10m です。

2.4 FH 1

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせ下さい。

電波について

■ 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

■ 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

■ 次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。

- 2.4GHz 用周波数帯域を利用する、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- iPhone、iPod および iTunes は、米国ならびに他の国々で登録された、Apple Inc. の登録商標です。iPad は、Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とはそれぞれ、iPod、iPhone および iPad 専用に接続するよう設計され、アップル社が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示しています。
- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Microsoft、Windows および Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「Wi-Fi」は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Android は、Google Inc. の商標および登録商標です。

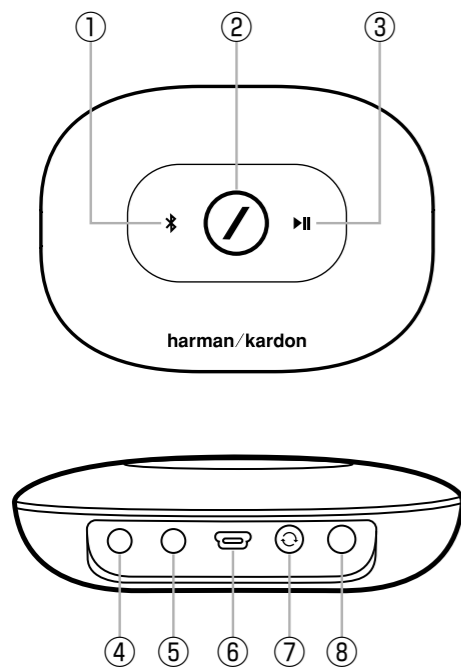
 

Made for
 iPod  iPhone  iPad

本機の特長

- ◆ Bluetooth 受信機能搭載。
他のオーディオ機器とアナログ接続し、ワイヤレスリスニングが可能となりました。これにより、Bluetooth を搭載していないオーディオ機器であっても Bluetooth を使用することができます。
- ◆ Wi-Fi 受信・送信機能により、高音質なワイヤレスリスニングが可能。
Bluetooth に加え、Wi-Fi でもワイヤレス接続ができ、高音質なワイヤレスリスニングが楽しめます。
また、アナログ入力端子を装備しているので、TV やコンポなどの AV 機器の音声を Wi-Fi 経由で再生することができます。
- ◆ 複数台接続を簡単に楽しめるストリームボタン。
本体上部にレイアウトしたストリームボタンにより、1 ボタンで別売の OMNI と Wi-Fi 接続をすることができます。
Wi-Fi 接続による高音質サウンドがお楽しみいただけます。
- ◆ 専用アプリの連携により、音源管理・再生操作のコントロールが可能。
専用アプリ (Harman Kardon Controller/ 無料) との連携により、音源管理・再生操作がお手元のスマートホンやタブレットから簡単に行えます。

各部の名称

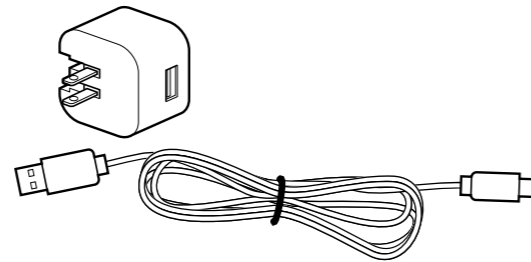


- ① Bluetooth (Bluetooth) ボタン
- ② ストリーム (Stream) ボタン
- ③ 再生 / 一時停止 (Play/Pause) ボタン
- ④ Audio Output/Mic In 端子
- ⑤ Audio In 端子
- ⑥ Power 端子
- ⑦ WPS (Wi-Fi Protected Setup) ボタン
- ⑧ Reset (リセット) ボタン

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

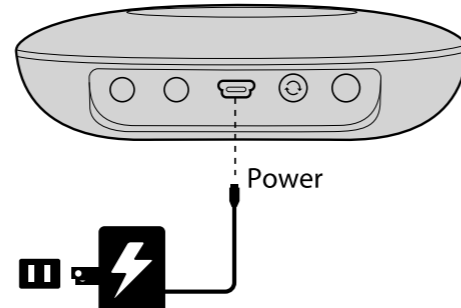
- USB 対応 AC アダプタ
- USB ケーブル (USB A → micro USB)



- 日本語取扱説明書 (本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書 (日本国内用)

ご使用前の準備

▶ AC アダプタを接続する



- ① 付属の USB ケーブルと AC アダプタを接続する。
- ② USB ケーブルのプラグを、本体背面の Power 端子に接続する。
- ③ AC アダプタを壁面のコンセントに接続する。
本機は国内外でお使いいただけます。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。

▶ オーディオ機器を接続する

- ① 市販のオーディオケーブルを本機の Audio Out 接続端子に接続する。
- ② 市販のオーディオケーブルをお手持ちのオーディオ機器の音声入力端子に接続します。
お手持ちの機器の音声入力端子の形状に合ったケーブルをお使いください。



Bluetooth を使用して再生する

- Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。
- 本機とデバイスを一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① Bluetooth (Bluetooth) ボタンを押す。
ストリーム (Stream) ボタンが青く点滅し、ペアリング設定状態になります。
- ② デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。

iPhone/iPod/iPad の場合 :

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスから「HK ADAPT XX」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示され、本機でピープ音が鳴ります。

その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合 :

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
ストリーム (Stream) ボタンが青く点灯しピープ音が鳴ると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ ペアリングを解除する

Bluetooth 接続中に、Bluetooth (Bluetooth) ボタンを押し続けます。

▶ Bluetooth 再生を行う

本機をお手持ちの iPhone・iPod・iPad やスマートフォンなどと Bluetooth 接続して、機器上の音楽をオーディオ機器のスピーカーで再生できます。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- ① iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- ② アイコンをタップする。
- ③ 「HK ADAPT」をタップする。

その他のデバイスで設定する

- ① 接続したデバイスで再生を始める。
接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

再生 / 一時停止は、本機の再生 / 一時停止 (Play/Pause) ボタンを使って操作することもできます。

複数の ADAPT または OMNI が Wi-Fi 接続されている場合、別の部屋に設置しているスピーカーで同じ音声を再生したり、設置しているすべてのスピーカーで同じ音声を再生することができます。設定方法について詳しくは、「複数のスピーカーの再生を切り換える」を参照してください。

Wi-Fi を使用して再生する

ご自宅のネットワークが無線 LAN の場合、スマートホン、タブレットやアナログ接続した音楽を、複数の部屋に設置した OMNI やアクティブスピーカー、コンポなどで同時に再生したり、それぞれ別の音楽を楽しむことができます。

※ DLNA、AirPlay には対応していません。

▶ はじめに (必ずお読みください)

- 製品ご購入後初めて Wi-Fi 接続を行う場合は、無線 LAN でインターネット接続が行われていることを確認してください。
- 本機では、以下の 2 種類の Wi-Fi 接続方法があります。お使いのデバイスに合わせて設定してください。

– WPS モード : お使いの無線 LAN ルーター / アクセスポイントが WPS に対応している場合、ボタンひとつでワンタッチ接続することができます。

– マニュアル接続モード : スマートホンまたはタブレットにインストールした Harman Kardon コントローラーアプリを使用して、手動で設定します。

▶ WPS 機能を使って接続する

WPS 機能を使って接続を行うには、WPS 対応の無線 LAN ルーター / アクセスポイントを使用したインターネット環境が必要です。

WPS とは

WPS (Wi-Fi Protected Setup) は、Wi-Fi Alliance が規定した規格で、無線 LAN 接続やセキュリティに関する設定を簡単にを行うための機能です。

WPS-PBC モードで接続する

- ① 無線 LAN / アクセスポイントの WPS ボタンを押す。
- ② 1 分以内に、本機の WPS (WPS) ボタンを押す。



接続中は、本機のストリーム (Stream) ボタンが素早く点滅します。ストリーム (Stream) ボタンが点滅から点灯に変わると、接続が完了します。

Wi-Fi を使用して再生する (つづき)

▶ Harman Kardon コントローラーで接続を設定する

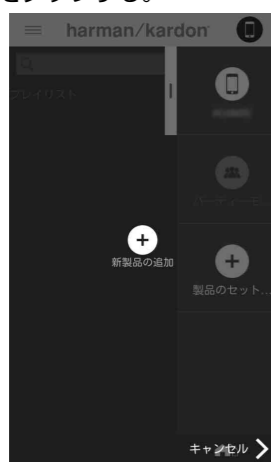
スマートホンやタブレットに Harman Kardon コントローラーアプリがインストールされている場合、アプリ上で接続を設定することができます。

Harman Kardon コントローラーアプリは、iOS および Android デバイスに対応しています。

App ストアおよび Play ストアから「Harman Kardon Controller」で検索して、ダウンロード/インストールしてください。

※この取扱説明書では、Android の画面例を使用して説明しています。

- ① デバイスの Wi-Fi 機能をオンにして、ネットワークに接続する。
- ② デバイス上で Harman Kardon コントローラーアイコンをタップして、アプリを起動する。
- ③ 「製品のセットアップ」をタップする。
- ④ 「新製品の追加」をタップする。



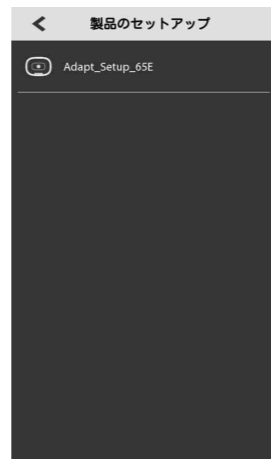
- ⑤ 「手動のセットアップ」をタップする。



- ⑥ 本機の RESET (Ⓞ) ボタンを 5 秒以上押す。



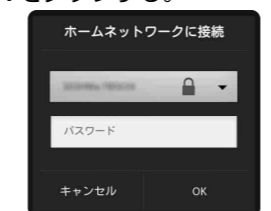
- ⑦ 接続可能機器の一覧から「Adapt**_Setup_***」を選択する。(Android の場合)
ホームネットワークの一覧が表示されます。



iOS をお使いの場合は、iOS の Wi-Fi 設定メニューから、製品名を選択してください。



- ⑧ 接続したいホームネットワークのネットワーク名とパスワードを入力し、OK をタップする。



接続中は、本機のストリーム (Ⓞ) ボタンが素早く点滅します。
• お使いの無線 LAN ルーター / アクセスポイントに応じて、接続に 1 分ほど時間がかかる場合があります。
接続中に以下の確認メッセージが表示されます。



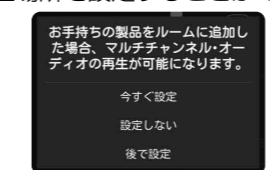
ストリーム (Ⓞ) ボタンが点滅から点灯に変わった場合は「はい」をタップします。
点滅したままの場合は、「いいえ」をタップし無線 LAN 接続の設定を確認して、再度手順①からやり直してください。

設定が完了したら、画面右上の「完了」をタップします。



お手持ちの OMNI 20 または OMNI 10 を Wi-Fi 接続したい場合は、手順④から⑧を繰り返し、すべてのスピーカーを接続します。

2 台目以上のスピーカーの接続が完了すると、引き続きスピーカーの役割や設置場所を設定することができます。



設定方法について詳しくは、「Harman Kardon コントローラーアプリで各種設定を行う」を参照してください。

ご注意

- 本機はすべての無線 LAN ルーター / アクセスポイントとの接続動作を確認したものではありません。
したがって、すべての無線 LAN ルーター / アクセスポイントとの接続は保証できません。
- 医療機器の近くや無線通信機器の使用が禁止されている場所では、無線 LAN 接続しないでください。
- 無線 LAN ルーター / アクセスポイントの仕様や接続方法などの詳細は、無線 LAN ルーター / アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- お使いの無線 LAN ルーター / アクセスポイントによっては、WPS に対応していても、WPS 機能を使用しない設定になっている場合があります。無線 LAN ルーター / アクセスポイントの WPS に関する設定方法については、無線 LAN ルーター / アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- 無線 LAN ルーター / アクセスポイントと本機が離れすぎていると、接続ができない場合があります。
- 両機器が離れすぎないようにご注意ください。
- 無線 LAN は周囲の電波の影響を受けます。電子レンジなどの近くでは電波状態が悪い場合がありますので、ご注意ください。
- 無線通信時のデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

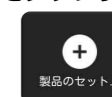
▶ Harman Kardon コントローラーアプリで各種設定を行う

Harman Kardon コントローラーアプリは、曲やプレイリストを管理するだけでなく、接続機器などのスピーカーの音量のコントロールや、複数台をワイヤレス接続したときのスピーカーごとの設定など、さまざまな設定を行うことができます。

接続機器ごとの設定を行う

接続機器を複数台ワイヤレス接続し、接続機器ごとの置き場所や役割などを設定できます。

- ① デバイス上で Harman Kardon コントローラーアイコンをタップして、アプリを起動する。
- ② 「製品のセットアップ」をタップする。



- ③ 「新ルームの追加」をタップする。



部屋の一覧が表示されます。



- ④ 接続したアクティブスピーカー、コンボなどを設置した場所をタップして右上の「次へ」をタップする。

設置した場所が一覧にない場合は、「カスタム」で設置場所の名称とアイコンを選択します。



Wi-Fi を使用して再生する (つづき)

- ⑤ 接続した機種を単体で使用したい場合は「スタンド・アローン」、2台組み合わせてステレオスピーカーにしたい場合は「ステレオ」をタップする。

ワイヤレス接続している ADAPT が 1 台のみの場合、「ステレオ」は表示されません。右上の「完了」をタップして設定を完了させてください。

- ⑥ 「ステレオ」を選択した場合:「L(左)」または「R(右)」をタップしてチャンネルを選択する。



- ⑦ 「製品の選択」エリアから、設定したい ADAPT をタップして選択する。
選んだ ADAPT にチャンネルが割り当てられます。
- ⑧ 手順⑥と⑦を繰り返し、もう一方のスピーカーの設定を行う。
ご注意: アクティブスピーカーをステレオペアに設定する場合は、同じ機種を接続してください。
- ⑨ セットアップを行い、「完了」をタップして設定を完了する。

▶ アップグレードを行う

本機はアップグレード対応製品です。
アップグレードが必要な場合、Wi-Fi 接続して Harman Kardon コントロールアプリを起動するとメッセージが表示されます。メッセージにしたがって操作を行ってください。

複数のスピーカーの再生を切り換える

複数の OMNI やアクティブスピーカー、コンポなどを Wi-Fi 接続したとき、別の部屋に設置しているスピーカーで同じ音声を再生したり、設置しているすべてのスピーカーで同じ音声を再生することができます。

▶ 別のスピーカーで同じ音声を再生する (マルチルーム・ストリーミング)

一台のスピーカーで再生中に、本機またはもう一台のスピーカーのストリーム (🔊) ボタンを押すと、一台目のスピーカーで再生されている音声が再生されます。

▶ すべてのスピーカーで同じ音声を再生する (パーティーモード)

本機またはスピーカーのストリーム (🔊) ボタンを 3 秒以上押し続けると、ボタンを押したスピーカーの音声が、ワイヤレス接続されているすべてのスピーカーで再生されます。

マルチルーム・ストリーミングおよびパーティーモードは Harman Kardon コントローラーアプリからも設定することができます。

トラブルシューティング

原因	解決法
接続された機器から音が出ない。	AC アダプタ、オーディオケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
	ペアリングされているかご確認ください。
	接続している機器の音量をご確認ください。
	再生機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
Wi-Fi 接続ができない。	お使いのデバイスがワイヤレスネットワークに接続されているかご確認ください。
	ネットワークのパスワードをご確認ください。
Bluetooth ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。
	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、ペアリングをやり直してください。

主な仕様

音声入出力	Bluetooth 入力× 1、Wi-Fi 入力× 1、音声入力× 1 (3.5mm ステレオミニ) 音声出力 / マイク入力× 1 (3.5mm ステレオミニ)
Bluetooth	Bluetooth 3.0
Bluetooth 伝送距離	Class 2 (通信距離約 10 m、障害なきこと)
Bluetooth 対応プロファイル	A2DP
無線 LAN	IEEE802.11b/g/n
無線 LAN 対応プロファイル	OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM
電源	AC アダプタ (100V ~ 240V 50Hz/60Hz)
外形寸法 (本体のみ)	幅 118mm × 奥行 86mm × 高さ 30mm
質量	121g (本体のみ)

*仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は Harman Kardon 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club(ハーマンオーナーズクラブ)は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://hk.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、
平日 9:30 ~ 17:30